

北米視察報告＜ 6 ＞

視 察 項 目	ロサンゼルス市議会訪問・市役所庁舎内視察
視 察 日 時	2009年3月27日（金） 午後3時30分～5時00分
視 察 先 名	ロサンゼルス市
説 明 者	Tom La Bonge（市議会議員）
担 当	太田 公子

【ロサンゼルス市議会訪問】

LA City Hall（ロサンゼルス市庁舎）に入庁しようとしたところ、入口でパスポートを提示するよう求められた。横を見ると、我々外国人だけではなく、ロサンゼルス市民も ID カードなどを提示していたので、扱いは全く同じようで、庁舎内の警備は厳重であると思われた。

庁舎内に入り、Tom La Bonge 氏のオフィスを訪ねると、Tom 氏は我々を快く迎えてくれ、あいさつの後、女性スタッフの案内で26階まで案内された。26階までは、エレベーターを3回ほど乗り継いだが、入庁した時の厳重さに比べると、庁舎内は思ったよりスムーズで移動することができた。



リトル・トーキョーからみたロサンゼルス市庁舎



トム氏（右から2人目）とともに議会事務所にて

1つ上の27階にあるトム・ブラッドレイ・ルームという記念ホールの外側が回廊式の展望台になっており、遠くには、ハリウッドや天文台、WBCの決勝戦が開催されたスタジアム、ロス市警庁舎などが一望でき、しばしの開放感に浸ることができた。

このタワーは、82年前の1928年に建てられた32階建ての建物であるが、地震対策のなかった当時の耐震法をクリアした高層ビルということであり、免震構造としては、世界一高い建物とのことであった。

川崎市議会が入る市役所第2庁舎と比較すると、耐震構造、庁舎警備ともかなりの違いがあると感じられた。この視察で、視察団員の中にも内心不安を抱いた人もいたのではないか。



トム・ブラッドレイ・ルームへの上り階段にて（原 団長）



トム・ブラッドレイ・ルームの記念ホール内部

【おわりに】

ロサンゼルス市は、人口385万人（2006年7月1日現在）を有する市であるが、市議会議員はわずか15人でした。

しかし、議員一人に、20人のスタッフと庁舎内を含めて3か所の事務所が用意されていました。日本とは制度が違うものの、きわめて議員にとって、その職責の重みのあるアメリカの制度と感じました。

短い時間での交流でしたが、制度の違いはあっても、やはり市民の生の声を聞くことこそが重要であり、私たち議員が議会へ反映する原点であることも再認識しました。



ロサンゼルス市議会15人の控室案内盤